

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が7例(10歳未満男性5例, 10歳未満代女性1例, 20歳代女性1例)(第29週追加報告分2例含む)ありました。本年の累積報告数は16例となっています。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については、下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- アメーバ赤痢(腸管アメーバ症)の報告が2例(30歳代及び40歳代女性)(第29週追加報告分含む)あり、本年の累積報告数は15例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が2例(70歳代及び90歳代男性)(第28週追加報告分含む)あり、本年の累積報告数は18例となりました。
- 急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)の報告が1例(10歳未満男性)(第28週追加報告分)ありました。症状は左下肢及び右下肢の弛緩性麻痺、発熱、小脳症状です。本年の5月1日に5類感染症の全数把握感染症に指定されてから初めての報告です。
- 侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(40歳代女性)あり、症状は左股関節痛です。感染地域は国内で、感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告数は53例となりました。
- 梅毒(早期顕症)の報告が2例(20歳代及び50歳代男性)(第28週追加報告分含む)あり、症状は梅毒性バラ疹です。感染地域は国内、感染経路は性的接触です。本年の累積報告数は43例となりました。
- 百日咳の報告が5例(10歳未満男性及び女性各1例, 10歳代男性及び女性各1例, 40歳代女性1例)ありました。症状はいずれも夜間の咳き込み等で、感染地域は国内です。本年の累積報告数は23例となりました。

◆ 今週のトピックス:<手足口病>

京都市における手足口病の定点当たり報告数は2.93(126例)となり、前週の2.60(112例)から増加しました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 9例(肺結核 7例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 5例
【1月以降の累積報告数 204例(肺結核 88例, その他結核 50例, 潜在性結核感染者 66例)うち喀痰塗抹陽性 49例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 7例【1月以降の累積報告数16例】
- 五類:アメーバ赤痢 2例【1月以降の累積報告数 15例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 18例】
- 五類:急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。) 1例【5月以降の累積報告数 1例】
- 五類:侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 53例】
- 五類:梅毒 2例【1月以降の累積報告数 43例】
- 五類:百日咳 5例【1月以降の累積報告数 23例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.04	3
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.91	211
	② 手足口病	2.93	126
	③ ヘルパンギーナ	1.93	83
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.86	37
	⑤ 咽頭結膜熱	0.30	13
眼科	流行性角結膜炎	0.70	7

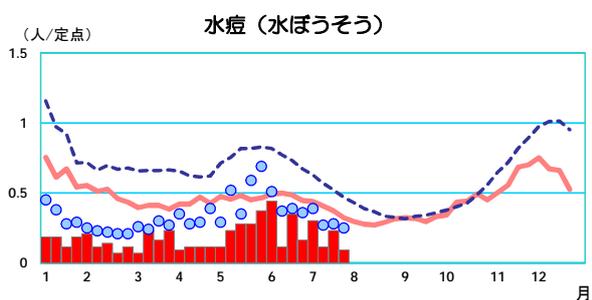
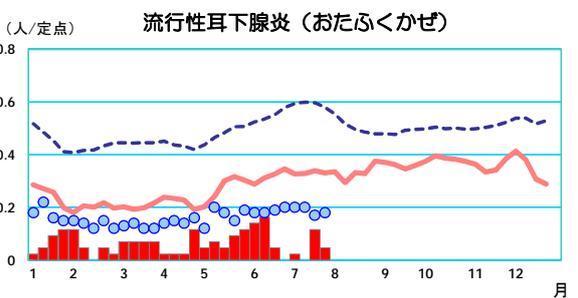
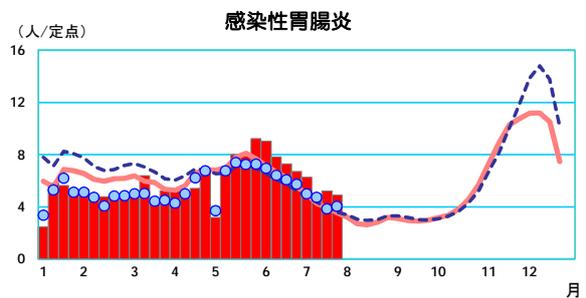
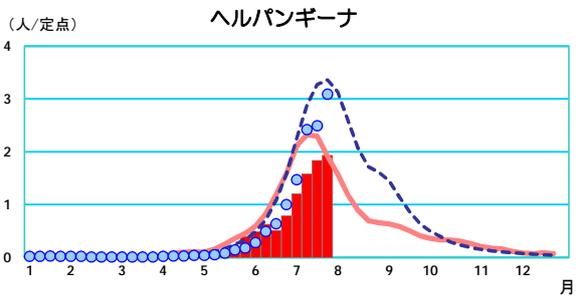
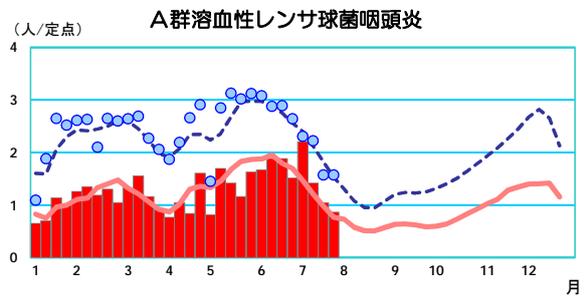
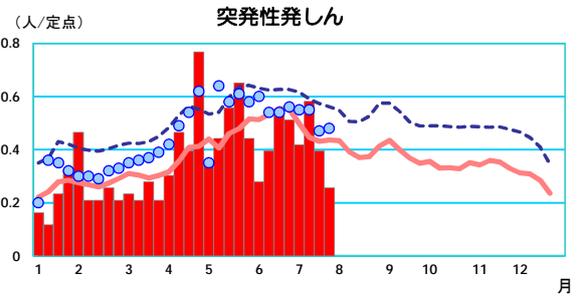
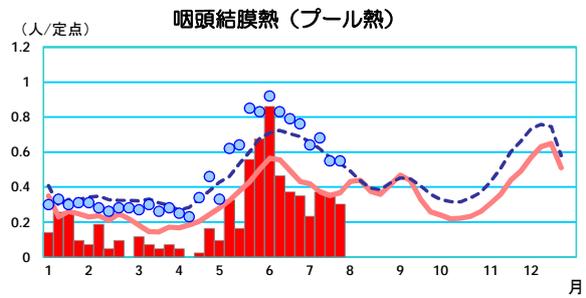
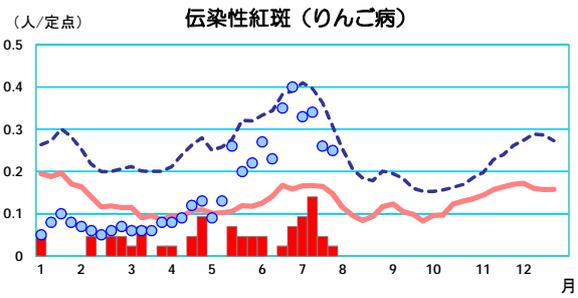
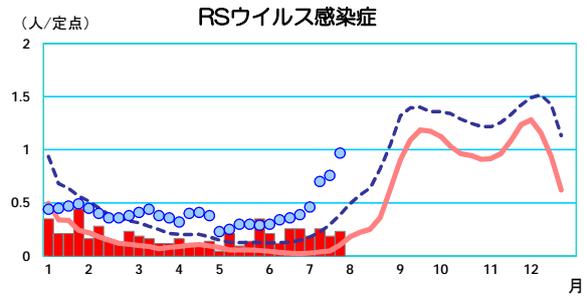
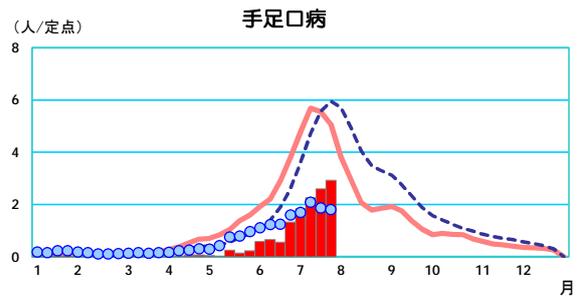
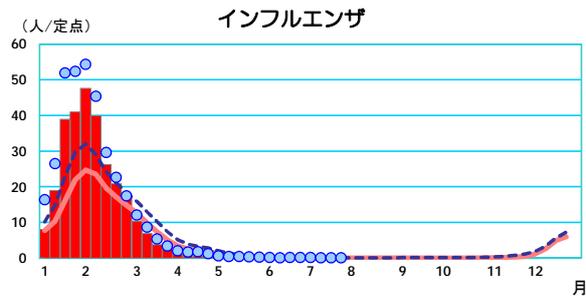
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<手足口病>

付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成30年8月1日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。
* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成30年）



第30週(7月23日～7月29日)トピックス: <手足口病>

京都市における手足口病の定点当たり報告数は2.93(126例)となり、前週の2.60(112例)から増加しました。全国では前週の1.87から減少し1.80となりました。本市、全国ともに過去5年平均値は超えていないものの、本市では第26週以降、5週連続して増加しています(図1)。

手足口病の警報開始基準値は5、終息基準値は2とされています。都道府県別の定点当たり報告数の推移を警報状態を合わせてみると、第30週時点で、群馬、山口、徳島、愛媛、福岡、熊本、大分、宮崎及び鹿児島島の9県で警報状態で、西日本での報告が多くなっています(図2)。

同様に京都市の行政区別の推移をみると、右京区で第27週から警報状態が継続していることに加え、左京区及び伏見区も警報に相当する状態となりました(図3)。

手足口病の原因病原体はウイルスで、エコーウイルス、コクサッキーウイルス、エンテロウイルスなど、様々なウイルスが関与していますが、本年の原因ウイルスは、中枢神経系の合併症を引き起こす場合もあるエンテロウイルス71の検出割合が高くなっています(京都市感染症週報平成30年第26週トピックス参照 <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000074152.html>)。

京都市全体で見ると、例年、発生がピークになる時期であること、警報状態の行政区があること、例年に比べて少ないとはいえ、徐々に報告数が増えていること、原因ウイルスがエンテロウイルス71の割合が高いことなどから、十分注意が必要と考えられます。手足口病にはワクチンや特別な治療薬がなく、予防が重要です。感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染です。手洗い、うがい、排泄物やおむつの処理、タオルの共有を避けるなどの予防を徹底しましょう。

図1 京都市及び全国の定点当たり報告数の推移

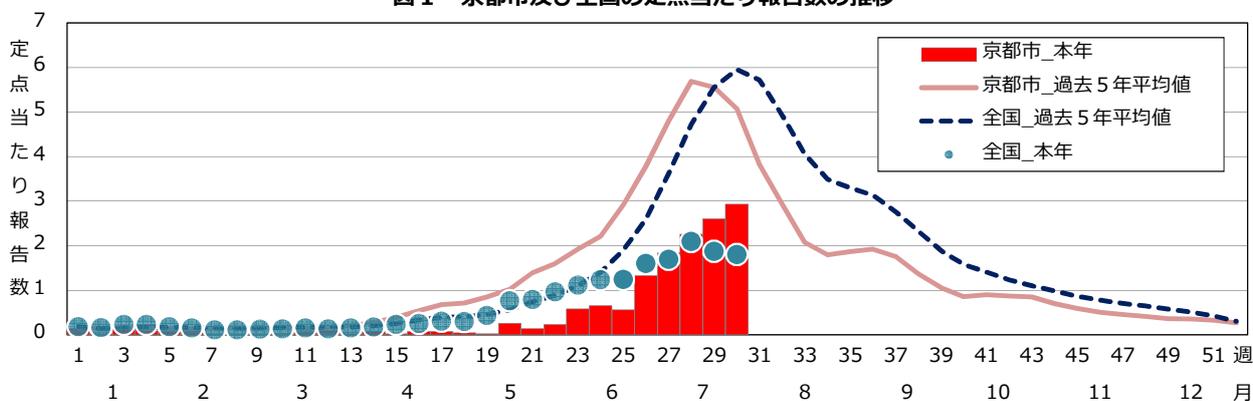


図2 都道府県別の定点あたり報告数の推移

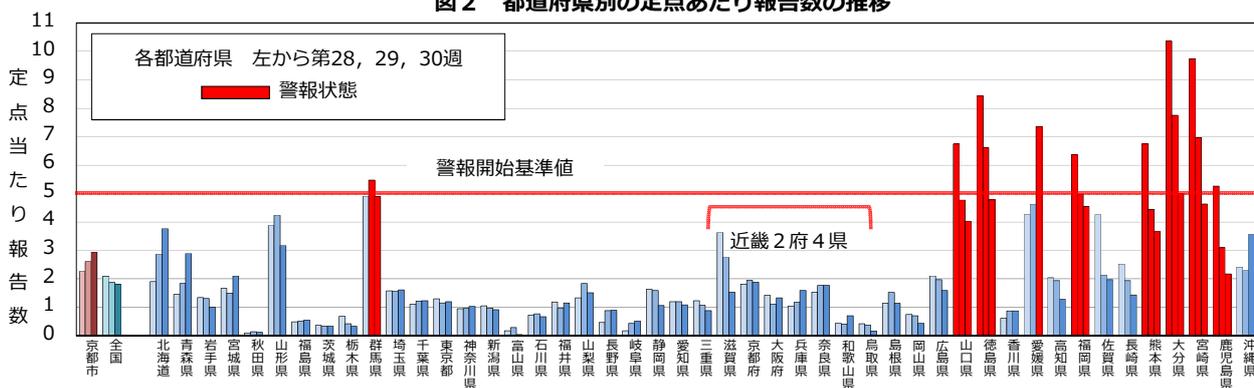
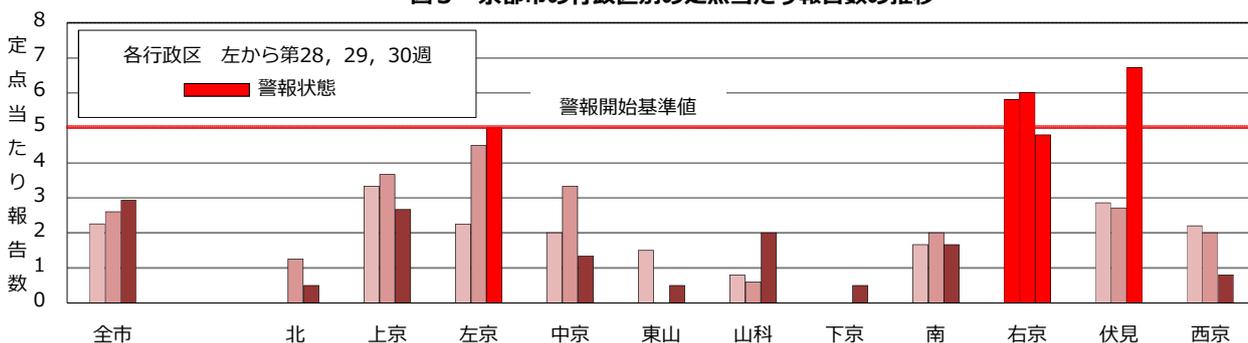


図3 京都市の行政区別の定点あたり報告数の推移



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第30週

疾病,行政区別報告数

平成30年7月23日～平成30年7月29日

データ入手日:平成30年8月1日

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	6	-	2	-	-	1	-	-	3					
北	-	-	-	-	6	-	2	-	-	1	-	-	3					
上京	-	-	-	-	8	1	8	-	1	4	-	-	-					
左京	1	1	-	4	57	-	20	-	3	7	-	-	1					
中京	-	2	1	2	6	-	4	1	-	6	-	-	1	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	2	19	-	1	-	-	2	-	-	-					
山科	-	2	-	8	10	-	10	-	1	8	-	-	2					
下京	1	-	-	-	4	-	1	-	-	3	-	-	-					
南	1	-	1	1	13	-	5	-	-	13	-	-	-					
右京	-	4	7	11	29	1	24	-	-	26	-	-	-					
伏見	-	-	1	6	43	2	47	-	4	11	2	-	-					
西京	-	1	3	3	16	-	4	-	2	2	-	-	-					
京都市計	3	10	13	37	211	4	126	1	11	83	2	-	7	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ(※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)
男女合計	-	-	-	-	1.50	-	0.50	-	-	0.25	-	-	3.00					
北	-	-	-	-	1.50	-	0.50	-	-	0.25	-	-	3.00					
上京	-	-	-	-	2.67	0.33	2.67	-	0.33	1.33	-	-	-					
左京	0.14	0.25	-	1.00	14.25	-	5.00	-	0.75	1.75	-	-	1.00					
中京	-	0.67	0.33	0.67	2.00	-	1.33	0.33	-	2.00	-	-	0.50	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	1.00	9.50	-	0.50	-	-	1.00	-	-	-					
山科	-	0.40	-	1.60	2.00	-	2.00	-	0.20	1.60	-	-	2.00					
下京	0.33	-	-	-	2.00	-	0.50	-	-	1.50	-	-	-					
南	0.20	-	0.33	0.33	4.33	-	1.67	-	-	4.33	-	-	-					
右京	-	0.80	1.40	2.20	5.80	0.20	4.80	-	-	5.20	-	-	-					
伏見	-	-	0.14	0.86	6.14	0.29	6.71	-	0.57	1.57	0.29	-	-					
西京	-	0.20	0.60	0.60	3.20	-	0.80	-	0.40	0.40	-	-	-					
京都市計	0.04	0.23	0.30	0.86	4.91	0.09	2.93	0.02	0.26	1.93	0.05	-	0.70	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第30週

年齢階級, 疾病別報告数

平成30年7月23日～平成30年7月29日

データ入手日:平成30年8月1日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上		
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上					
インフルエンザ (※1)	年齢1	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	
RSウイルス感染症	年齢3	10	2	5	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		13	-	3	1	1	3	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		37	-	1	1	7	3	4	7	5	3	2	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		211	2	20	35	24	16	18	12	14	12	7	5	11	11	24	-	-	-	-	-	-	-
水痘		4	-	-	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		126	1	3	44	45	14	7	5	5	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		11	-	5	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		83	1	7	22	18	8	4	9	6	2	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		2	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎		7	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
男女合計	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	0.04	-	-	-	0.01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.23	0.05	0.12	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.30	-	0.07	0.02	0.02	0.07	0.02	0.02	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.86	-	0.02	0.02	0.16	0.07	0.09	0.16	0.12	0.07	0.05	-	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		4.91	0.05	0.47	0.81	0.56	0.37	0.42	0.28	0.33	0.28	0.16	0.12	0.26	0.26	0.56	-	-	-	-	-	-
水痘		0.09	-	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		2.93	0.02	0.07	1.02	1.05	0.33	0.16	0.12	0.12	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.26	-	0.12	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1.93	0.02	0.16	0.51	0.42	0.19	0.09	0.21	0.14	0.05	0.02	-	0.05	-	0.07	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.70	-	-	-	-	0.20	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	0.30	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成30年第30週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成30年8月1日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	2	-	2	3	3
RSウイルス感染症	11	11	8	11	8	10
咽頭結膜熱	16	15	10	16	15	13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	81	65	95	61	45	37
感染性胃腸炎	314	288	270	213	224	211
水痘	15	7	13	5	10	4
手足口病	24	57	79	97	112	126
伝染性紅斑	1	3	4	6	2	1
突発性発しん	23	22	18	25	17	11
ヘルパンギーナ	22	34	52	68	79	83
流行性耳下腺炎	2	-	1	-	5	2
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	4	6	2	6	3	7
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	513	510	552	510	523	508

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	0.03	-	0.03	0.04	0.04
RSウイルス感染症	0.26	0.26	0.19	0.26	0.19	0.23
咽頭結膜熱	0.37	0.35	0.23	0.37	0.35	0.30
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.88	1.51	2.21	1.42	1.05	0.86
感染性胃腸炎	7.30	6.70	6.28	4.95	5.21	4.91
水痘	0.35	0.16	0.30	0.12	0.23	0.09
手足口病	0.56	1.33	1.84	2.26	2.60	2.93
伝染性紅斑	0.02	0.07	0.09	0.14	0.05	0.02
突発性発しん	0.53	0.51	0.42	0.58	0.40	0.26
ヘルパンギーナ	0.51	0.79	1.21	1.58	1.84	1.93
流行性耳下腺炎	0.05	-	0.02	-	0.12	0.05
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.40	0.60	0.20	0.60	0.30	0.70
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合計	12.24	12.30	12.99	12.30	12.37	12.32

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。